くりの病害

29. 胴枯病



黄色~橙黄色

の胞子塊

もも・うめの病害

30. ウメ輪紋ウイルス(PPV)





30a. うめ 退緑輪紋 30b. もも 退緑斑紋

苗による移入に注意!

アブラムシ類により媒介され、うめ、もも、などのサクラ属が罹病する。国内では2009年に初めて確認され、2010年から防除区域が指定され伐採と苗の移動制限が行われた。

キウイフルーツ

31. キウイフルーツかいよう病



31a. ハローを伴う褐斑



31b. ハローを伴なわな い褐斑



31c. 白色樹液流出



31d. 赤色樹液流出

苗による移入に注意!

Psa (Pseudomonas syringae pv. Actinidiae)という細菌による病害。主に苗木や穂木、花粉の移入により感染し、発病樹では、花蕾の褐変・腐敗や枝幹の枯死等が拡大する。複数の遺伝子系統があり、Psa3系統は特に病原性が強く、ニュージーランド等海外の主要産地で蔓延、国内では2014年に初確認され、レッド系品種の栽培園を中心に被害が拡大し、広く伐採が行われた(写真はヘイワード、Psa1系統)。